夏期シンポジウム特集号

荒 川 正 文*

Masafumi Arakawa

この特集号は昭和47年7月12日～14日に神戸市の六甲山頂，行雲荘において実施された粉体工学研究会・第8回夏期シンポジウムにおける講演を採録したものである。

夏期シンポジウムは春，秋の例会，冬期討論会とあわせて粉体工学研究会の主要行事の1つであり，冬期討論会が単位操作を主としているのに対して，基礎的な問題をじっくりと考えることに主眼をおいている。第8回はテーマとして“固液系の問題の粉体工学的考え方”をとりあげ，固液系の本質的な特性を対象にして討論しようと考えたのである。この企画の意図および実施の経過は本号の第8回夏期シンポジウム始末記に記した通りで，最終的には次のようなプログラムによって実施された。

第1日 午後2時より

総合講演：分散系のレオロジー

東北大・工 梅屋 薫

研究報告：固液混合系の塑性流動

名大・工 神保 元二

研究報告：ペースト状物質のレオロジー特性

名大・工 浅井 信義

第2日 午前9時より

研究報告：スラリー回分沈降の圧縮脱水曲線の解析

室蘭工大 渡辺治夫・小幡英二

研究報告：スラリー沈降速度に対する温度の影響

室蘭工大 渡辺治夫・小幡英二

研究報告：微粒子スラリー層の平衡圧縮特性，並びに圧縮特性に及ぼす電解質の影響

大阪府大・工 長瀬洋一，ほか4氏

研究報告：粘土懸濁液のレオロジ的性質におよぼす気泡の影響

京工繊大・工 奥田 進

総合講演：鉱山とくに選鉱工場におけるスラリー

処理技術

東大・工 井上外志雄

総合講演：窯業の分野におけるスラリーの問題点
京工繊大・工 奥田 進

総合講演：医薬品関係の分野における濃厚サスペンションの問題点

名城大・薬 大塚昭信

コメント：クロラムフェニコール濃厚サスペンションの振動圧密および遠心圧密

藤沢薬品(株) 技術部 芦田和雄

コメント：スラリーの製造と供給

塩野義製薬(株) 佐藤文雄

第3日 午前9時より

研究報告：ジルコン，クロム，マグネシア耐火物の振動 casting

京工繊大・工 林 国郎

研究報告：坏土の練和と押出しにおける水分と粘稠度 京大化研 荒川正文

コメント：信楽坏土と石灰石廃泥の液性限界と塑性限界 同志社大 三輪茂雄

総合討論：スラリーを中心とした固液の問題の考え方 司 会 三輪茂雄

今会の夏期シンポジウムは種々の理由によって総合討論の時間が少なくなり，またその記録が完全にとれなかったのでこの特集号では討論の記録を掲載することができなかったことをお詫びしなければならない。しかし，講演していただいた方々からは予想以上に原稿が頂戴でき立派な特集号となったことはまことに有難く思っている。なお，一部の原稿は講義として次号以降に掲載することになっている。

固液系の取り扱いに限らず，粉体工学のいろいろの問題における理論と実際の接点として，今後とも本会の夏期シンポジウムが少しでも役に立ち，またその発展の経過を示す碑として夏期シンポジウム特集号が育ってゆけば幸いこれに過ぎるものはない。

昭和47年11月13日受理

*京都大学化学研究所 (〒611 宇治市五ヶ庄)

TEL 0774-32-3111